

# 令和7年度 事業報告書

令和7年度の事業計画に基づく事業内容を報告いたします。

## I. 地域活動の強化

### (1) 「大規模災害時における臨床検査薬の供給に関する協定書」締結活動

近年、地震、台風、豪雨等の自然災害が全国的に頻発しており、災害時における臨床検査体制の確保は、地域医療を支える上で極めて重要な課題となっております。臨薬卸連では、このような社会情勢を踏まえ、災害時における地域貢献活動の一環として、「大規模災害時における臨床検査薬の供給に関する協定書」締結推進活動を継続的に実施してまいりました。

その結果、現時点において2府10県の自治体および20道府県の臨床検査技師会との協定締結が完了しております。

### (2) 新規会員の入会促進

地域貢献活動の更なる充実を図るため、会員拡大に向けた入会促進活動を行いました。現在の会員数は、正会員54社、支店会員3社となっております。

### (3) ブロック活動の充実と内容の共有

各ブロックにおいてブロック会が開催され、地域特性を踏まえた活動が展開されました。各ブロックの活動内容については、事務局を通じて役員およびブロック長へ共有し、相互の情報共有と今後の活動の参考といたしました。

## II. 活動の活性化と情報発信の推進

### (1) 臨床検査関連団体との連携活動

- ① 令和7年6月、臨薬卸連は、日本臨床衛生検査技師会と、団体として「災害時における臨床検査薬の供給に関する協定」を締結いたしました。本協定は、地震をはじめとする自然災害発生時において、医療現場で必要とされる臨床検査薬を遅滞なく被災地へ供給することを目的としたものです。

本協定の締結により、災害時における臨床検査体制の維持・確保に向けた関係団体との連携体制が、より一層強化されました。

- ② 臨薬卸連としての社会的使命を果たすため、日本臨床検査薬協会、日本臨床衛生検査技師会、日本衛生検査所協会、日本臨床検査振興協議会等の臨床検査関連団体との連携を継続的に行ってまいりました。

各団体が主催する行事や会合には、会長をはじめ多くの役員が参加し、情報交換や相互理解の深化に努めました。

### (2) 検査薬配送用ドライアイスフリー保冷ボックス配付

臨床検査薬業界においては、検査薬配送時の品質保持を目的として、ドライアイスを用いた温度管理が広く行われておりますが、近年の異常気象や地球温暖化の進行に伴

い、二酸化炭素排出量の増加が社会的な課題となっております。

このような状況を踏まえ、理事会では SDGs（持続可能な開発目標）における環境問題への対応の一環として、ドライアイスを使用せずに $-20^{\circ}\text{C}$ での保冷が可能であり、側面に内部温度計測器を備えた保冷ボックスセットを全会員に配付いたしました。本取組は、環境負荷の低減と検査薬品質の安定確保を両立する取組として、業界内における意識向上にも寄与するものと考えております。

### （3）積極的な調査活動の実施と活用

業界を取り巻く環境の変化に対応し、会員間での情報共有を図るとともに、共通課題の把握と解決に資することを目的として、昨年に引き続き各種調査活動を実施いたしました。調査結果については、すべて会員に共有し、事業運営の参考として活用されております。

#### ① 臨床検査薬卸業調査報告書（第 32 回）

令和 7 年 1 月に全会員を対象として第 32 回アンケート調査を実施し、同年 4 月に調査結果を取りまとめ、臨薬卸連ホームページの会員専用ページに掲載いたしました。本調査は、臨薬卸連が法人化する以前より長年にわたり継続して実施しているものであり、メーカー・卸間における物流業務の合理化および効率化を推進するうえで、極めて重要な調査となっております。

調査の実施にあたり、会員各社には多大なるご協力を賜りましたことに、改めて厚く御礼申し上げます。

なお、今後は調査内容についてさらなる検討を行い、時代の変化に即した、より実務に資する調査とするため、理事会内にアンケート委員会を設置することといたしました。

#### ② 臨床検査薬売上推移調査報告書

継続的に実施している臨床検査薬売上推移調査について、今年度も調査を行い、令和 6 年度年間および令和 7 年度上半期の 2 回の調査結果を取りまとめ、会員に配信いたしました。あわせて、グラフの活用など、調査結果がより把握しやすくなるよう改善を行いました。

#### ③ インフルエンザ迅速診断試薬流通調査報告書

令和 7 年 4 月にインフルエンザ迅速診断試薬の売上調査を実施し、過去データとの比較結果を会員に配信いたしました。

また、昨年同様、夏季におけるインフルエンザ流行が確認されたことを踏まえ、4 月から 9 月までの売上状況について、10 月に追加調査を実施いたしました。

#### ④ 新型コロナウイルス感染症関連商品売上調査報告書

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症関連商品の売上調査を実施いたしました。

令和 6 年度下半期（令和 6 年 10 月～令和 7 年 3 月）および令和 7 年度上半期（令和 7 年 4 月～9 月）の売上状況について調査を行い、その結果を会員に配信いたしました。

#### (4) ホームページの充実

- ① 臨薬卸連ホームページを、情報端末に依存しない Web サイトとしてリニューアルいたしました。PC、スマートフォン、タブレットなど、いずれの端末からアクセスした場合でも最適な表示となるよう改修を行い、あわせてトップページのデザインも一新いたしました。
- ② ホームページの内容については、常に最新情報の掲載に努め、会員・賛助会員の紹介、「大規模災害時協定」の締結状況、その他各種事業活動の情報を広く発信いたしました。
- ③ 昨年同様、パスワード管理された会員・賛助会員専用ページの充実を図り、「卸ニュース」や会員名簿等の最新情報を掲載いたしました。
- ④ 「大規模災害協定」を締結している自治体および臨床検査技師会について、日本地図を用いた色分け表示を行い、最新情報をホームページ内の「災害協定」→「締結地区一覧」ページに掲載いたしました。

#### (5) 振興協議会主催の大規模災害対策委員会への参画

日本臨床検査振興協議会が主催する「大規模災害対策委員会」にオブザーバーとして参画し、これまでの災害協定締結の経験を活かしながら、関係団体と連携して取り組んでまいりました。

また、9月5日および6日に同協議会が実施した大規模災害模擬訓練に参加し、災害時対応に関する検討および訓練に協力いたしました。

#### (6) 臨薬卸ニュース No. 62、No. 63 の発刊

会員向け会報である「臨薬卸ニュース」について、No. 62 を令和7年8月に、No. 63 を令和8年2月に、それぞれ発刊し、臨薬卸連ホームページの会員・賛助会員専用ページにて公開いたしました。

No. 62 では、中村会長挨拶、令和7年度定時会員総会・講演会報告、理事会報告、各種名簿および調査報告等を掲載いたしました。

No. 63 では、中村会長による令和8年年頭所感をはじめ、理事会報告、各種売上調査報告、大規模災害協定締結地区一覧等を掲載いたしました。

#### (7) 会員企業の参考となる情報の発信

近年の社会の多様化や制度改正等を踏まえ、社会情勢、労務管理、コンプライアンス等に関する情報について、会員企業の参考となる資料を随時配信いたしました。

#### (8) オンラインによる情報交換会

理事・監事によるオンライン情報交換会を、理事会が開催されない月を中心に開催いたしました。忌憚のない意見交換や最新情報の共有を行い、理事会運営および事業推進に資する有意義な場となりました。

令和7年度の開催日：5月16日、10月17日、11月14日、3月19日

### Ⅲ. 臨薬卸連運営基盤の強化

## (1) 賛助会員入会の強化

前年度に引き続き、臨薬卸連の活動を支える運営基盤の充実を目的として、賛助会員の入会促進活動に積極的に取り組みました。

臨床検査薬メーカーや検査機器メーカー等に対し、臨薬卸連の活動趣旨や取組内容について説明を行い、入会に向けた働きかけを実施いたしました。

その結果、昨年度は新たに1社にご入会いただき、現在の賛助会員数は25社となっております。

## (2) 臨薬卸連の基盤強化活動

臨薬卸連の公益的役割の発揮および運営基盤の一層の強化を図るため、関係団体との連携を重視し、各種行事や会合への参加を通じた情報収集および意見交換を行いました。主な活動内容は以下のとおりです

- ① 5月10日：第74回日本医学検査学会開会式セレモニーに出席（中村会長）
- ② 5月20日：日本衛生検査所協会定時総会に出席（中村会長）
- ③ 6月1日：北陸大学創立50周年記念式典に出席（中村会長）
- ④ 6月5日：日本臨床検査薬協会・流通運営委員会との定期的な情報交換（流通運営委員）
- ⑤ 7月15日：日本臨床検査振興協議会（WEB開催）に出席（中村会長、上田理事、増沢事務局長）
- ⑥ 7月17日：日本臨床検査標準協議会倫理審査委員会（WEB開催）に出席（増沢事務局長）
- ⑦ 9月5日：日本臨床衛生検査技師会主催の大規模災害対応訓練（WEB開催）に出席（中村会長）
- ⑧ 9月6日：日本臨床衛生検査技師会主催の大規模災害対応訓練（WEB開催）に出席（増沢事務局長）
- ⑨ 11月27日：日本衛生検査所協会主催の臨床検査普及月間大会に出席（小関副会長）
- ⑩ 12月3日：日本臨床検査薬協会・流通運営委員会との定期的な情報交換（流通運営委員）
- ⑪ 1月5日：日本衛生検査所協会主催の新年賀詞交歓会に出席（中村会長）
- ⑫ 1月14日：日本臨床検査薬協会主催の新年賀詞交歓会に出席（中村会長及び臨薬卸連会員）
- ⑬ 1月23日：日本臨床衛生検査技師会主催の新年賀詞交換会に出席（中村会長、増沢事務局長）

これらの活動を通じ、臨床検査を取り巻く最新動向の把握に努めるとともに、関係団体との連携強化を図り、臨薬卸連の安定的な運営および今後の事業推進に資する取組を進めてまいりました。

以上

## 令和7年度 定例理事会報告

### (1) 第1回定例理事会：令和7年4月17日（木）臨薬卸連会議室

（審議事項）

- 1) 令和7年定時総会議案書について（堤副会長）
  - ① 第1号議案（令和6年度事業報告書）（案）（承認）
  - ② 第2号議案（令和6年度収支決算報告書）（案）（承認）
  - ③ 第4号議案（令和7年度予算計画書）（案）（承認）
  - ④ 第5号議案（定款一部改訂）（案）顧問新設（承認）
- 2) 臨薬卸連協会としての事業活動「ドライアイスフリー保冷箱」について（堤副会長）

社内で保冷箱内寸の実寸大サンプルを作成して検証したが、内寸がかなり狭いので実際に使用できるとは思えない。また、ドライアイスの方が効率的である。（渡辺理事・顧問）

以上の意見を踏まえ、継続審議とする。（承認）
- 3) 令和7年第3回地方理事会の開催日及び開催地について（堤副会長）

理事会及び懇親会開催日：令和7年9月24日（水）

開催場所：石川県金沢市（承認）
- 4) ホームページのリニューアルについて（橋本理事）

総務委員会にてホームページのリニューアルを検討し、以下の通り提案する。

  - ① 現在PCサイズのホームページを、タブレット、スマホ、PCでストレスなく閲覧できるようにコード変更をする。（承認）
  - ② ホームページのトップページのみ、デザインを新しくする。（承認）
- 5) 日臨技と臨薬卸連との協定書について（中村会長）

日本臨床衛生検査技師会と日本臨床検査薬卸連協会との間で締結する「災害時における臨床検査薬等の供給に関する協定書」の修正案が日臨技より届いたので、後日メール審議にて決議する。（承認）

### (2) Eメールによる臨時理事会：令和7年4月30日

（審議事項）

- 1) 日本臨床衛生検査技師会との災害協定締結  
中村会長の提案通りの文面にて、日本臨床衛生検査技師会と日本臨床検査薬卸連協会の「災害時における臨床検査薬等の供給に関する協定書」の締結は、全理事の賛成により可決した。

### (3) 第2回定例理事会：令和7年7月24日（木）臨薬卸連会議室

（審議事項）

- 1) 令和8年度定時会員総会開催日及び会場について（中村会長）

開催日：令和8（2026）年6月4日（木）

会 場：明治記念館

定時総会：丹頂の間（役員改選）

記念講演会：丹頂の間（70名）

臨時理事会：千歳の間（22名）

懇親会：末広の間（70名） 以上（承認）

2) 令和8年度定例理事会開催予定日について（中村会長）

第1回理事会 令和8年4月21日（火）東京事務局

第2回理事会 令和8年7月23日（木）東京事務局

第3回理事会 令和8年10月22日（木）神戸開催

第4回理事会 令和8年12月2日（水）明治記念館 忘年会

第5回理事会 令和9年2月18日（木）東京事務局

以上の日時で開催する。（承認）

3) 令和8年度総会記念講演会演者について（中村会長）（菅谷副会長）

日赤愛知医療センター名古屋第二病院名誉院長の石川 清先生を推薦する。（承認）

4) ドライアイスフリー保冷箱について（中村会長）

ドライアイスの価格高騰と取扱店が減少傾向であるので、次回理事会でサンプルを取り寄せ再検討する。（承認）

**（4）第3回定例理事会：令和7年9月24日（水）ホテル金沢「エメラルドBの間」**

（審議事項）

1) ドライアイスフリー保冷箱について（堤副会長）

山田理事が「(株)スギヤマゲン」よりドライアイスフリー保冷箱2種類(10L及び20L)の現品を取り寄せ、議場にて実際の荷姿、容量、重量等を確認し検討した結果、20Lサイズの保冷箱1個を臨薬卸連の全会員に配付することを決議した。（承認）

2) 第33回（2026年）アンケート調査について（増沢事務局長）

9/1日アンケート設問についての意見をEメールにて募ったが、特段の意見や修正、更新の希望がなかった。従って第33回アンケートは前回と同じ内容で調査を実施する。（承認）

また、アンケートの内容や全体の精査について意見があったので検討する。（承認）

3) 災害協定について（橋本理事）

「大規模災害協定」について、大規模災害発生時に起こりうる具体的な運用の問題点や内容の検討が必要ではないか。卸は検査薬の供給をすることになっているが、調達について有償・無償、調達先、価格設定などについて決めごとが必要ではないか。

① 被災県から各ブロックのブロック長へ臨床検査薬等の調達要請があった後のブロック長が実行する基本的な調達フローについて

② 被災県から各ブロックのブロック長への連絡が不通の場合について継続審議とする。（承認）

**（5）第4回定例理事会：令和7年12月3日（水）明治記念館 かしわ・あやめの間**

（審議事項）

- 1) アンケート（臨薬卸調査報告）小委員会について（中村会長）
  - ① アンケート内容を審議する小委員会を以前のように設置し、設問内容や表示方法等を検討する。（承認）
  - ② 次回アンケート掲載予定の「2024年問題」の設問に関して、2024年に限らず、法改正後の運送に関する問題についての設問にする。（承認）
  - ③ 様々な課題に対する取り組みや創意工夫等（成功事例）を記入できるようにする。（承認）
- 2) 災害協定に関する委員会の設置、及び大規模災害協定の運用について（中村会長）

理事会内に「災害協定推進委員会」を設置し、課題や対策等に関して検討する。委員は次の7名とする。

竹内副会長（委員長）、堤副会長、菅谷副会長、佐伯理事、小野理事、橋本理事、大西理事（古幡オブザーバー）

災害時における臨薬卸連の対応、活動の流れ、検査薬その他の輸送、被災地への輸送時の事故などの補償に関し、詳細な取り決めについて議論する。また振興協議会、臨薬協、日臨技との連携についても検討する。（承認）

#### **（6）第5回定例理事会：令和8年2月19日（木）臨薬卸連会議室**

（審議事項）

- 1) 令和8年定時総会議案書について 中村会長
  - ① 第1号議案（R7事業報告書）（案）（承認）
  - ② 第3号議案（R8事業計画書）（案）（承認）
- 2) 臨床検査振興協議会の大規模災害対策委員会のオブザーバー参画について 中村会長

令和8年度から以下の4名を指名する。

中村和彦会長、佐伯聡理事、橋本信二理事、増沢麻子事務局長（承認）
- 3) 災害対応委員会について 竹内委員長

前回理事会にて中村会長より指名された各ブロック1名、計7名の委員による「災害協定推進委員会」を立ち上げた。

橋本理事を中心に、Eメールでのやり取り、1/14と2/19の2回の委員会開催を経て、精度の高い「災害対応マニュアル」及び「大規模災害協定全国統一案（三者間協定、自治体との二者間協定、技師会との二者間協定、細目）」が完成した。橋本理事より「災害対応マニュアル」「大規模災害協定全国統一案」につき、詳細な内容や注意点の説明があった。（承認）

また、議場より以下の提案があり承認された。

  - ・災害時協定案を機会に、ブロック内で各社の協力協定を再度結んではどうか。
  - ・災害時協定は各社社内での周知も必要である。
  - ・次回理事会までに各ブロックで連絡責任者3名を選出する。